

J A R L

香川クラブ報

No. 335 平成 16 年 6 月 15 日



J A 5 Y D E

フィールドミーティング(移動運用)

梅雨を迎え、うっとうしい時期になりましたが会員各位おかれましてはアクティブにご活躍のことと存じます。

先のクラブミーティングにおいて、フィールドミーティングについて検討しました結果、「久しぶりに移動運用をしないか」との提案があり、「アマチュア無線のクラブとして本来の在り方に立ち返るという意味で、それもいいだろう」との結論に達しました。そこで、クラブの発展と会員相互の親睦を図ることを目的に下記のと通りの日程を進めてまいりますので、より多くの会員の参加を頂き、無線と飲み食いを両立し、星空を見上げながら語らいませんか？

記

1. と き：7月24日(土)16:00 から 25日(日)適当な時間まで

2. ところ：高松市三谷町 3106 (下図参照)

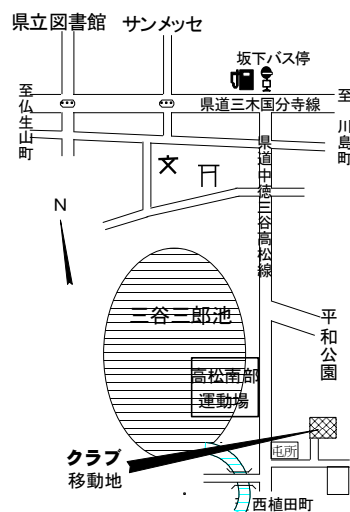
3. 会 費：男性：1,500 円(高校生以上) 女性：1,000 円
小児：500 円(小・中学生) 幼児：無料
(クラブ員及びその家族以外は幼児を除くそれぞれ 500 円増し)

4. 参加申込：準備の都合がありますので **7月19日(月)**までに参加の人数と内訳をご連絡下さい。

企画担当役員 JA5TFJ 横田
JH5PMZ 多田

5. その他：1、24日の夕食は焼肉
25日の朝食は買出しします。
2、飲み物等はできる限り準備しますが、持ち込み差し入れは大歓迎です。
3、宿泊、日帰り、また覗きに来るだけでも大歓迎です。
4、宿泊場所があります。
また、テントを張る場所も十分あります。
ただし、テントは各自で持参して下さい。
5、運用周波数は 3.5 から 1200MHz を予定しています

なお、クラブ員およびその家族はもちろん、クラブ員以外の方も歓迎しますので、ぜひたくさんの方の参加をいただき、楽しい夏のひと時を過ごしましょう。



クラブミーティングの報告

去る、5月19日に定例のクラブミーティングが開催されました。
まず、天野会長から開会のあいさつがあり、議題に入りました。

夏のフィールドミーティングについて検討がされたところ、「海辺で移動運用はどうか？」と提案があり「久しぶりにそれも面白かろう」「毎年は無理でも一度やってみよう」「無線をするのなら山のほうが良いのでは」など喧喧諤諤。

まず山のほうに話が進み、かつてのミーティングに話がおよんだり、思い出したり、懐かしんだりしましたが最終的には、後から追っかけてくる人や早めに帰らなければならない人のこと、買出しやトイレの事などを考えると「海辺の方が良いのではないか」という事になりました。

また、「JARL主催の大コンテストの時より平時のほうがのんびりできるだろう」との意見が出され、それでは「津田はどうだ」「志度は」「白鳥が良い」とか「テントならあるぞ」「蚊帳がないか」「トラックは」「無線機やアンテナは何が良い」とか、「焼肉だ、ビールだ」といろいろな意見が出され話が尽きる事はありませんでした。

日程と事前打合せの日を決めておいて、場所については今月中にJF5MED山田OMに調査してもらうということで落ち着きました。

近年、ボーリング大会でアマチュア無線とかけ離れたものでしたが、久しぶりに移動運用の話になり、皆かつてのフィールドミーティングを回顧し大いに盛り上がり、時間も忘れて楽しいミーティングになりました。



＜出席者＞ JA5AHM/JH5LYW/JH5WMN/JH5PMZ/JF5ICA/JF5MED/JG5OBX/JI5XTP

＜お詫び＞

上記のクラブミーティングにおいて、海岸での移動運用を計画し山田OMにいろいろ調査してもらいましたが、キャンプも出来て、車が置いて、移動運用が出来そうな適当な場所が見当たらないということで、クラブ報発送の期限切れでもあり、山田OMにこれ以上ご迷惑もおかけできないので、「8 J 5 I I I」もおこなったことのある三谷町のJH5LYW 旧三好宅においてフィールドミーティング（移動運用とビヤガーデン）を行う事になりました。

また、今回はさておいて今後適当な移動地を選定して、次回は海辺で移動運用をしたいと考えていますので、皆さんも適当な場所がありましたら情報提供のご協力をお願いします。（詳細については1ページのとおりです）

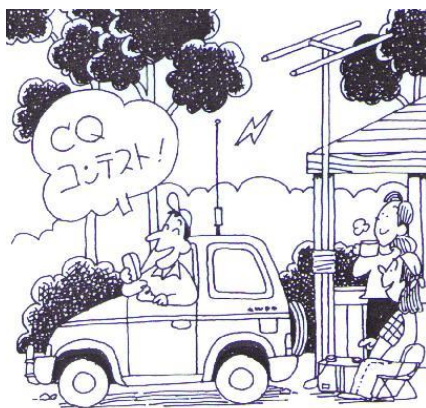
ALL J A 5 コンテストに参加しよう

J A R L 四国地方本部が主催で、「ALL J A 5 コンテスト」が開催されます。

今年のコンテスト期間は**7月17日(土)21:00から7月18日(日)20:59:59まで**です。

クラブ員で参加、入賞されている方は毎年何人かいますが、なおたくさんの方に参加をお願いいたします。

このコンテストは、「香川マラソンコンテスト」と異なり、四国内の局はもちろん、日本国内全ての局が参加することができます。そして、5エリヤの局は国内全ての局が得点対象ですが、5エリヤ以外の局は5エリヤとの交信しか得点対象になりません。だからこのコンテストは、我々**5エリヤの局が主役**なのです。どしどし参加



しましょう。

なお、その際サマリーシートに「登録クラブ対抗」という欄がありますのでそこに左記のように記入するようお願いいたします。登録クラブ対抗の欄に記入していただく事により参加した各局の得点数がクラブの獲得点数となります。

登録クラブ対抗

登録クラブ 番 号	3 6 - 1 - 1
登録クラブ 名 称	J A R L 香川クラブ

オール J A 5 コンテストだけでなく、J A R L 四大コンテストはもちろんどのようなコンテストにも記載するようにして下さい。

ぜひクラブの成績向上のためにも、短時間でも少しの交信局でも良いですからコンテストに参加して得点獲得にご協力をお願いします。

A R D F に参加してきました

< A R D F 岡山大会の成績 >

4 月 25 日

岡山県蒜山高原

クラス	大会順位	コールサイン	所要時間	探索個数	備 考
Y L	第 1 位	J F 5 I C B	1 時間 21 分 06 秒	4 個	秋に開催される全日本 ARDF 競技大会の会場近くで前哨戦とスタッフの練習を兼ねて開催された大会でしたが、天候に恵まれ沢山の参加者があり盛況でした。そんな中クラブからの参加者が大活躍でした。
	第 2 位	J I 5 V W A	1 時間 32 分 28 秒	4 個	
	第 3 位	J J 5 C Y N	1 時間 44 分 27 秒	4 個	
	第 5 位	J G 5 T J J	1 時間 38 分 03 秒	3 個	
OM	第 1 位	J F 5 M E D	1 時間 21 分 18 秒	5 個	
O T	第 2 位	J H 5 L Y W	1 時間 15 分 56 秒	4 個 (5)	
	第 3 位	J F 5 I C A	1 時間 24 分 03 秒	4 個	
	第 4 位	J I 5 X T P	1 時間 36 分 22 秒	4 個	
	第 10 位	J G 5 O B X	1 時間 20 分 00 秒	2 個	

ARDF 四国地方大会の報告



今大会は、プロ野球「阪神タイガース」のキャンプ地で有名な高知県春野町で四国内外から 48 名の選手が参加して盛大に開催されました。

前の日に、平年よりはるかに早く入梅しましたが、幸い心配されたお天気にも恵まれ、蒸し暑い 1 日でしたが、往復の道中を含め全く雨に遭わず F B な大会になりました。

競技コースはアップダウンは比較的少なかったものの各 T X が広範囲にばら撒かれ、総走行距離はかなりありました。

お天気に恵まれた日曜日という事もあって、コース内にある運動公園や有名な“あじさい街道”には大勢の人通りがあり、その中を受信機片手に走り回る選手は少し奇異でした。度々「何しちゅうが？」と聞かれその度に「無線を使った遊びでね、電波を出している所を見つける、まあ無線とオリエンテーリングを合わせた遊びですよ」と分かったような分からないような説明をし納得してもらい、またせっかくの美しい花に目もくれず競技に熱中。目の保養も十分出来ず残念でしたが楽しい一日でした。

参加の各局暑い中、本当にお疲れ様でした。なお、クラブから参加の各局の成績は以下のとおりでした。

<ARDF 四国地方大会の成績> 5 月 30 日 高知県春野町

クラス	大会順位	コールサイン	所要時間	探索個数	備 考
Y L	第 1 位	J I 5 V W A	1 時間 36 分 25 秒	3 (4) 個	総合第 1 位
	第 4 位	J F 5 I C B	1 時間 33 分 23 秒	2 個	総合第 4 位
	失 格	J G 5 T J J	2 時間 15 分 36 秒	3 個	
OM	第 1 位	J F 5 M E D	1 時間 43 分 25 秒	4 個	総合第 1 位
O T	第 1 位	J H 5 L Y W	1 時間 22 分 54 秒	4 (5) 個	総合第 1 位
	第 2 位	J F 5 I C A	1 時間 23 分 05 秒	4 個	総合第 2 位
	第 5 位	J I 5 X T P	1 時間 43 分 17 秒	3 個	総合第 5 位
	第 10 位	J G 5 O B X	1 時間 37 分 38 秒	2 個	総合第 10 位
V T	第 3 位	J A 5 T O P	1 時間 38 分 51 秒	3 個	総合第 5 位

大会スタッフ J A 5 M G

(上記の成績中、探索個数の中で () 内は探索しなくても良い T X を含めた総探索数を表しています)

スキーツアーに行ってきました。

de JH5WMN

2月6日から1泊4日(往き帰り車中2泊)で、信州の志賀高原までスキーツアーに行ってきました。昨年は同じ信州の赤倉温泉でしたが、今回も良く似たメンバーとなりました。(JF5ICA 向井さん、JI5WVA 大浦さん、向井さんの友人、JH5WMN 山口一家4人、東京から JF5EAP 鎌倉さんの合計8人)

6日の出発は夜の9時過ぎなので、仕事を終えて夕食の後、集合場所の「ゆめタウン」前の高速バス停に集まりました。

昨年は、高松駅前だったので自宅からタクシーに荷物を詰め込み大変だったのですが、今回はすぐ近くに専用駐車場が有り楽でした。冷たい風に震えながら待っていましたが、時間通りやって来たバスに乗ると、暖かくゆったりとして快適でした。特に今回のバスは座席間隔が通常より広く、横へもスライドするというので期待していましたが、その通り今までのスキーバスの中では最高でした。

熟睡とまではいきませんが、ウトウトして目が覚め、夜が明けるころには一面の雪景色、8時過ぎに現地に到着しました。

今回は宿泊ホテルの玄関前までバスが入り、重たい荷物を持ち運ぶこともありませんでした。ホテルの1室を早めに借りてゆっくりとくつろいでいると、別便でのEAPさんも到着したので、とりあえず目の前のゲレンデのレストランで朝昼兼用の食事をし、待望のスキーとなりました。

志賀高原スキー場は、上信越国立公園の山々にまたがった21のスキー場からなり、それらが71基のリフトやロープウェイで繋がっています。また、幹線道路に沿ってシャトルバスでも連絡されており、バスでも端から端まで1時間近くもかかる日本を代表する広大なスキーエリアです。

宿泊ホテルはそこの中でも一番手前のゲレンデの近くに位置していたので、とりあえずその近辺から順番に滑って行こうということになりました。

天候については、出発の数日前からあまり良くない予報が続い

ていたのですが、快晴ではないにせよ風も無く雪もほとんど降っておらず雪質も最高の状態でした。全員で一緒に並んで滑った訳ではありませんが、付かず離れずで技量に応じた好みのコースを滑り、時々集合し、夕方までには全エリアの3分の1くらいの所まで制覇できました。

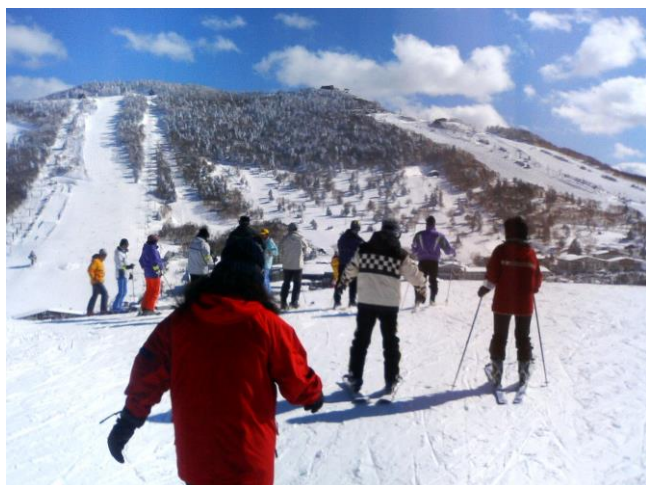
1日目はここまでとして、ホテルまではシャトルバスで帰りました。ホテルでは入浴してくつろいだ後皆で夕食をし、明日に備えてぐっすりと熟睡したのです。

翌朝、目が覚めるとやたら明るいので、窓を開けると抜けるような青空、快晴無風。朝食の後早速ゲレンデへと向かいました。



志賀高原スキー場 東館山 2030m山頂付近にて
(後ろは焼額山 2009m)

2日目は昨日の最後の所までシャトルバスで行って続きから滑ろうということになり、バス停へ向かいました。ホテルの近くのバス停はバスルートの始点に近く、ターミナルになっているので待っていれば座って行けるだろうと思っていました。が、到着したバスの中はすでにいっぱい立っている状態でした。誰でも考えることは同じだなあ。乗車扉が開き、仕方ないので我慢して乗り込もうとした瞬間、なんと何のアナウンスも無く扉が閉まり発車して行くではありませんか。我々の後にも他のお客さんが何人か待っていましたが、訳が解らず皆呆然と立ち尽くしていました。次のバスまではまた20分も待たねばなりません。バス停の傍に事務所があるようなのでそこに行き、バス会社の係員らしい人に訳を話すと、それでは別に1台出しましょうということになり、我々のグループのためにだけにその人が運転して送ってくれることになりました。シャトルバスと言っても高松の路線バス位の大型バスで、これが貸切状態となりました。最初のバスの運転手にはムカついたが、後の係りの人には感謝。という訳で、落ち込みかけた気分も吹っ飛び、青空のもと颯爽と2日目にチャレンジです。



まずは、昨日の次の山頂まで上がり景色の良い所で記念撮影。昨日までに滑っていないコースはまだまだ多くバラエティーにも富んでいるので、今日は休憩の集合場所だけ決めて各自好きな所を滑ろうということになりました。子供達二人は直下の急斜面を降りて行きアッという間に見えなくなりました。残された大人達もそれぞれ好きなコースに出て行きます。私はもっぱら緩い林間コースを景色を眺めながらゆっくりとク

ルージングです。(体力温存?)

お昼が近づいてきたので連絡を取り合い、一番綺麗そうなレストランへ集合。最近のメジャーなスキー場はほとんどの場所で携帯電話が通じ、連絡には事欠きません。以前はハンディー機でやっていたのですが、何せ山の上なので遠くからの混信が多く、尾根の向こうとこちらでは通じないこともありましたが重宝していたものでした。今や皆携帯になってしまいました。時代の流れでしょうか。

午後からも各自好きなコースを目指し、3時頃には大方のエリアを走破し、シャトルバスが込み合う前に早めに乗ってホテル近くに帰ってきました。その後、日暮れまで近くで滑り、2日間のスキーを満喫したのでした。

ところで、子供達に負けじと、スキー場で一番手強いコブコブの急斜面に勇敢にチャレンジした ICA さんはエライ!

ホテルに帰ってお湯につかり、荷造りをして、後は帰りのバスに乗るだけです。バスは予定通り順調に走り、途中、夕食兼お土産のドライブインに寄り、高速道路を一路高松へ。「ゆめタウン」バス停へは予定より1時間早く到着し、マイカーに乗り換え自宅へ、まだ暗いうちに無事帰宅となりました。その日は月曜日、一眠りした後、子供達は学校へ、親達は仕事へと向かうのでした。私が筋肉痛と睡魔で1日仕事にならなかったのは、お察しの通りです。

また、来年も行きましょう。今回行けなかった皆さんもぜひ。

★★★ 新入会員募集中 ★★★

JARL 香川クラブでは、新入会員を募集しています。

今年はクラブ結成56年になります。

そこで、更なる飛躍と新たな歴史を築いていかなければなりません。
クラブに新風を吹き込むためにも、新入会員の募集にご協力ください。

JARL 香川クラブでは、会員サービスのために無線局免許状の期限切れについてお知らせをしていますが、免許状記載事項に変更があったり、新たに無線局免許状を取得した方は、その都度お知らせくださいますようお願いいたします。

将来のインターネットサービスに対応して、現在「電子メールアドレス」を取得している方は、差し支えなければ連絡下さい。

Eメール：JH5WMN

JH5LYW

**前年度までの会費が未納の方は早急に納入をお願いします。
また、平成16年度会費につきましても早急に納入をお願いします。**

会報等印刷発送だけで会費の半分以上を使っています。会費が未納の方は納入してくれている会員の方に負担をかけています。ぜひよろしくお願いします。

JARL 香川クラブ報

発行責任者	JA5AHM	天 野 英 弘
編 集 者	JH5LYW	三 好 伸 幸
	JH5WMN	山 口 博 司
	JE5PBO	岡 田 光